

2022年4月入学 第1回入学試験問題用紙
 Entrance Examination for April 2022 (1st Application)

Examination Questions

岡山大学大学院環境生命科学研究科
 Graduate School of Environmental and Life Science
 (Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY

専門科目 Subject
農業経営学

1. 以下の問題について解答しなさい

農業に対する国内保護政策は社会的経済厚生を減少させる。図1・図2は①関税、②補助金の政策の経済モデルを示す。農産物1単位当たりの関税は t 、補助金は s で示す。

- (1) 「関税」により、輸入価格の変化、国内価格、国内消費量はどのように変化するか説明しなさい。また、消費者余剰の変化と、関税税収についても図1のモデルから説明しなさい。
- (2) 「輸入数量制限」でも「関税」と同じような効果を生み出すとされるが、「輸入数量制限」ではある問題が発生する。その問題について説明しなさい。
- (3) 「補助金」により生産者の生産コストを下げるような支援を行った場合、農業者の国内生産量、国内消費量、国内価格について説明しなさい。また、消費者余剰の変化について図2のモデル

から説明しなさい。

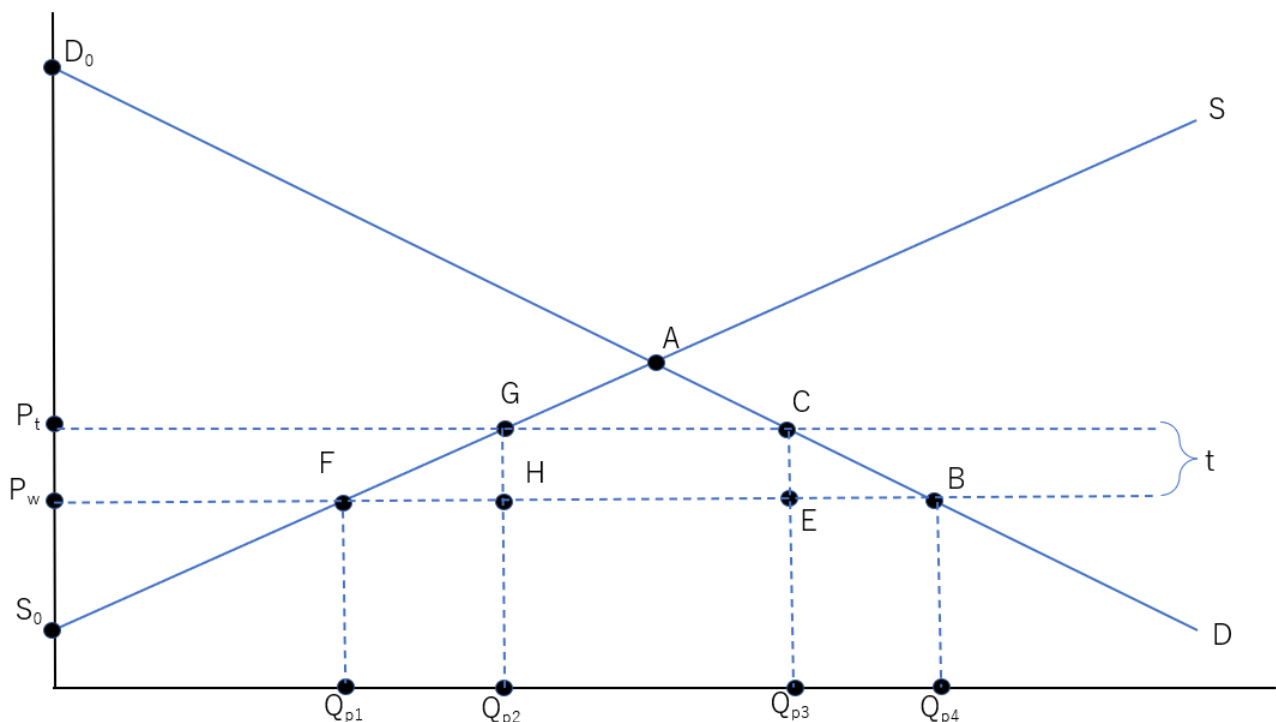


図1 関税による効果

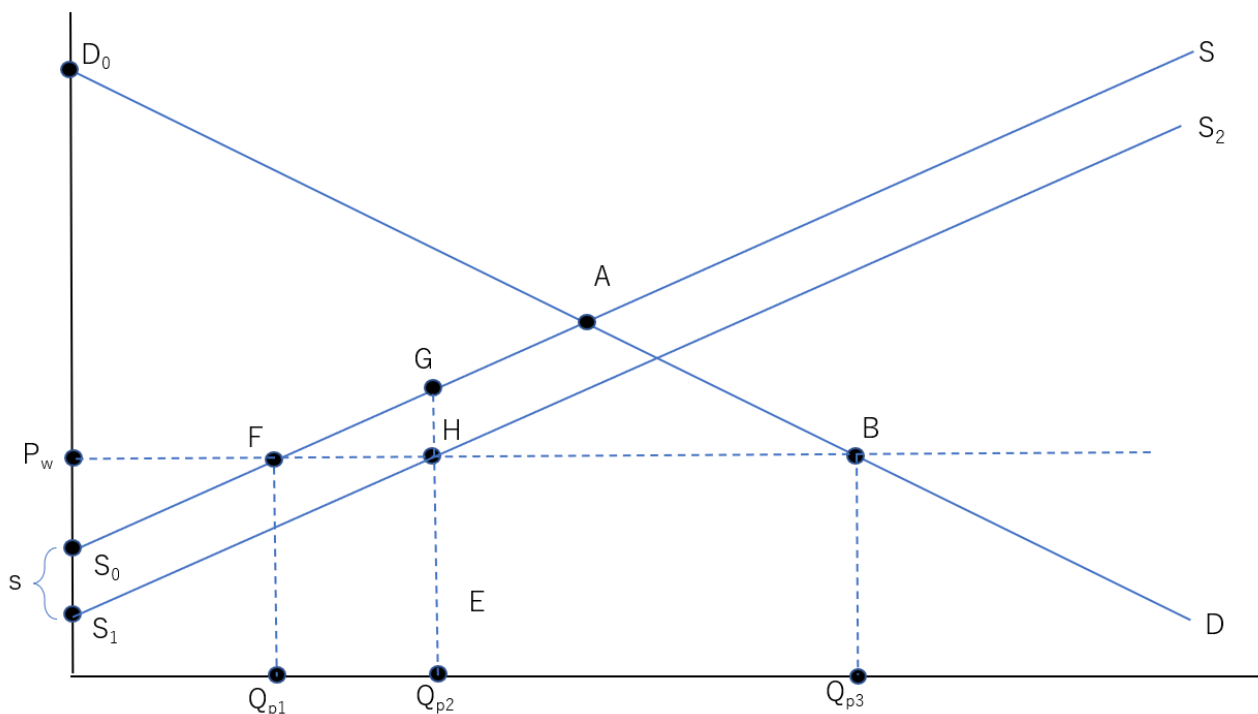


図2 補助金の効果

2.以下の問題について解答しなさい

農業経営において生産した農産物を販売して初めて利益を得ることができる。農産物流通やマーケティングについて説明しなさい

- (1) 農産物流通は、生鮮品であることや季節性等の制約条件から他の財（商品）とは異なる性質を持つ。農産物流通の特徴について、「需要面（消費者）」と「供給面（生産者）」の視点から説明しなさい。
- (2) 現在、農産物市場の二極化が指摘されている。大量生産・大量流通で全国一律の「大きな市場」とそれに対して特定の用途や使用価値を追求する「小さな市場」による。「小さな市場」が生まれた要因について説明しなさい。
- (3) 農業経営者は多様化する販路や農産物ニーズに適用したマーケティングが求められている。これら多様化する農産物販路・需要に対して、農業者によるオンライン販売の取組み等が実施されている。そこで、①この多様化する販路・需要に適応した販売戦略を具体的に提示し、その上で当該方法において②想定されるメリットとデメリットについて述べなさい。そして、③そのデメリットを解消するための仕組みについて提案しなさい。